

2018年12月3日

医学系研究の実施に関するお知らせ

研究課題名：介護老人保健施設入所者の口腔インプラント治療に関する口腔衛生状況

および咀嚼・嚥下機能の把握

研究責任者：医療保健学部口腔保健学科・教授・糸田昌隆

1. 研究の対象

公益財団法人大阪老人保健施設協会に加盟している施設の入所者のうち、過去に口腔インプラント治療を受けたことのある入所者の方

2. 研究目的

介護老人保健施設入所者の口腔インプラント治療に関する口腔衛生状況および咀嚼・嚥下機能の把握を行うことにより、要介護となった場合、口腔インプラントの口腔衛生状況および咀嚼・嚥下機能にどのような変化がみられるのかを明らかにすることを目的とします。

3. 研究方法

①事前アンケート調査

公益財団法人大阪介護老人保健施設協会に加盟している施設入所の方の中に、過去に口腔インプラント治療を受けたことがある、または受けた可能性があると思われる入所者様を紹介してもらえると、当該施設の口腔衛生管理についてのアンケートを行います。

②訪問調査

事前アンケート調査により紹介を受けた、過去に口腔インプラント治療を受けている施設入所者の方を対象に現在の口腔衛生状況、咀嚼・嚥下機能等に関する調査を行います。

- (1) 口腔衛生状況の評価は Oral Health Assessment Tool 日本語版 (OHAT-J) を用います。
- (2) 咀嚼機能の客観的評価（可能なら2種類の評価を実施します。要介護度に応じて困難と判断した場合は実施できる方法で評価します。）を行います。
 - (2)-1. 咀嚼能力検査システム（株式会社ジーシー社製 グルコセンサーGS-II®）を用い咀嚼能力を測定します。
 - (2)-2. キシリトール咀嚼チェックガム（株式会社ロッテ社製）を用いて測定します。
- (3) 咀嚼機能の主観的評価は日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2013 を用いて摂取可能食品に関する評価を用います。
- (4) 嚥下機能の評価は嚥下スクリーニングツール (EAT-10) を用います。入所者が記入可能であれば評価表を記入してもらいますが記入困難な場合は聞き取りをし、研究担当者が記入します。
- (5) 栄養状態の評価は簡易栄養状態評価表 (MNA-SF®) と、Functional Oral Intake Scale (FOIS) にて行います。入居者が記入可能であれば、簡易栄養状態評価表 (MNA-SF®) を記入してもらいますが入居者が記入困難な場合は聞き取りをし、研究担当者が記入します。
- (6) その他の調査項目として改訂 BDR を使用して口腔清掃自立度を調査します。また施設の看護およびケア記録から年齢、性別、現病歴、既往歴、要介護度、日常生活自立度、食事形態などを調査します。

4. 研究期間

学長による許可後～2020年3月31日まで

5. 研究に用いる試料・情報の種類

試料

- ① 事前アンケート（過去に口腔インプラント治療を受けたまたは、受けた可能性のある入所者様の抽出）
- ② Oral Health Assessment Tool 日本語版 (OHAT-J)
- ③ キシリトール咀嚼チェッガム®およびグルコセンサーGS-II®
- ④ 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2013
- ⑤ EAT-10 および Functional Oral Intake Scale (FOIS)
- ⑥ 改訂 BDR

試料を研究で使用しない場合は、本研究で用いることはありません。

情報：施設の看護およびケア記録から年齢、性別、現病歴、既往歴、要介護度、日常生活自立度、形態、栄養状態等）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様や患者様の代理人の方に不利益が生じることは一切ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：大学院医療保健学研究科・大学院1年生・板並悠香

住所：〒573-1144 枚方市牧野本町1丁目4番4号

電話番号：06-6910-1542（板並）